

「あかりの日」

10月21日

日本照明工業会（JLMA）・日本電気協会・照明学会の3団体からなる「あかりの日」委員会は、1981年に10月21日を「あかりの日」と定めた。トーマス・エジソンが1879年10月21日に世界で初めて実用的な白熱電球を完成させたことにちなむ。同委員会はよりよい照明のあり方について情報を発信し、より多くの人々から照明に関心を持ってもらうことを目的に、さまざまな啓発活動に取り組んでいる。

豊かな暮らしと環境配慮を実現

プラスマイナスゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言している。30年までに国内の照明を全てLED照明に置き換えると、照明器具の国内消費電力量を60%削減できるという試算がある。2050年カーボンニュートラル宣言の実現に向けて、LED照明への置き換えが急がれている。

ライティング 5・0

LED照明

発光ダイオード（LED）は電気を流すと発光する半導体の一種。LED照明は白熱電球や蛍光灯と比べて①消費電力が低い②長寿命③紫外線・赤外線が発生が少ない（写真・絵画などを照らしても退色・劣化が少なく、虫が集まりにくい）④水銀などの有害物質を含まない⑤環境に優しい照明といえる。

●健康

「健康」によいあかりとは、時間によって明るさや光色を変化させ、生活リズムをサポートして睡眠の質を向上させる照明や、自然光に近く目に優しい照明など。

●安全

「安全」のためのあかりは、停電時に自動消灯・消灯、

●快適

「快適」に過ぎたあかりは、スピーディーに操作ができて、環境に配慮しながら、より豊かな暮らしを実現できる。JLMAは、ライティング5・0が脱炭素を推進する国民運動「デコ活」アクションの「こだわる楽しさエコグッズ」の推進につながる

あす記念イベント

東京スカイツリー5階

「あかりの日」委員会は21日14時半から、東京都墨田区の東京スカイツリー5階出口フロアで「住まいの照明BOOK」、記念品のイルミネーションライト機能付きUSB卓上加湿器、環境省作成の「デコ活」のチラシを1500部配布する。

LED照明器具への理解を促す。

また同委員会は「第23回 全国小学生ポスターコンテスト2022」を実施した。全国3の小学生を対象に、あかりに関するものを10点、入選30点が選定される予定。

テーマに作品を募集した。今回は596点の応募作品の中から岩本都希さん（福岡県、小4）の作品が最優秀賞に選ばれた。表彰式は21日、東京スカイツリーで行われる。

小学生ポスターコンテスト

最優秀賞に 岩本都希さん




入賞作品は東京スカイツリー5階出口フロアで10月31日まで展示される予定。

「あかりの日」委員会のホームページ（<https://akarinohi.jp/index.html>）でも公開されている。

知ってる? 10月21日は「あかりの日」

Lighting 5.0



1879年（明治12年）10月21日、トーマス・エジソンが世界で初めて実用的な白熱電球を開発しました。「あかりの日」は、この歴史的な日を記念し、エジソンの偉業をたたえて制定されました。今年度の「住まいの照明BOOK」は、あかりちゃんがLED照明に4つの価値をプラスした次世代照明「Lighting 5.0」を探ります。

「あかりの日」委員会

一般社団法人 日本照明工業協会
 一般社団法人 日本電気協会
 一般社団法人 照明学会

あかりの日 検索

<https://akarinohi.jp/>

QRコード

ホームページでは、「住まいの照明BOOK」の内容や「ポスターコンテスト」の作品募集要項や受賞作品がご覧になれます。